



2022年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第1四半期の連結業績（2021年7月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第1四半期	4,845	18.9	870	27.0	875	25.6	605	18.1
2021年6月期第1四半期	4,074	41.4	685	537.8	697	465.6	513	793.5

(注) 包括利益 2022年6月期第1四半期 622百万円 (22.3%) 2021年6月期第1四半期 509百万円 (829.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第1四半期	15.29	—
2021年6月期第1四半期	12.95	—

(注) 1. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2020年11月6日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第1四半期	24,624	16,930	68.8
2021年6月期	24,804	16,703	67.3

(参考) 自己資本 2022年6月期第1四半期 16,930百万円 2021年6月期 16,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年6月期	—	—	—	—	—
2022年6月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,550	4.1	3,430	1.6	3,420	0.4	2,060	△3.6	52.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年6月期1Q	39,619,980株	2021年6月期	39,619,980株
② 期末自己株式数	2022年6月期1Q	1,312株	2021年6月期	1,312株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年6月期1Q	39,618,668株	2021年6月期1Q	39,618,718株

（注）当社は、2020年11月6日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されていたものの、ワクチン接種等の効果によって感染者数が減少し、緊急事態措置及びまん延防止等重点措置も全都道府県で解除されるなど、今後の経済活動は徐々に回復していくものと見込まれます。

後発医薬品業界におきましては、2025年には5人に1人が75歳以上になるという「2025年問題」を控え、「経済財政運営と改革の基本方針2019～『令和』新時代：『Society 5.0』への挑戦～」(骨太方針2019)において、「後発医薬品の使用促進について、安定供給や品質の更なる信頼性確保を図りつつ、2020年9月までの後発医薬品使用割合80%の実現に向け、インセンティブ強化も含めて引き続き取り組む。」と明記されておりましたが、2020年9月の薬価調査における実績は78.3%となり、80%の目標にわずかに届かない結果となりました。そこで厚生労働省は2021年4月27日に開かれた、経済財政諮問会議の経済・財政一体改革推進委員会「社会保障ワーキング・グループ」において、後発医薬品の浸透には都道府県による格差があることから、後発医薬品の使用割合に関する新たな目標として「2023年度末までに後発医薬品の数量シェアを全ての都道府県で80%以上」とすると示しております。その一方で、2021年度から薬価改定が毎年度行われることとなっており、厳しさも予想されております。

このような事業環境の中で、当社グループは、事業理念“New Business Model Innovation”に基づき、ジェネリック医薬品原薬の輸入商社と、注射剤中心の医療用医薬品の製造販売機能を併せもつビジネスモデルで、高品質で安価な原薬を日本市場に安定的に供給するとともに、自社開発品の製造・販売や大手医薬品メーカーからの製造受託を通じて、医薬品業界における多様なニーズに対応しております。また、昨今後発医薬品業界で品質面に関わる重大な問題が相次いで発生しております。当社グループとしては、医薬品製造従事者として引き続きGMPを遵守し、品質管理や製造管理をより一層徹底してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,845百万円(前年同期比18.9%増)、営業利益870百万円(前年同期比27.0%増)、経常利益875百万円(前年同期比25.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益605百万円(前年同期比18.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、腫瘍用薬や循環器官用薬向け原薬の販売が増加し、感覚器官用薬向け原薬の販売の減少があったものの、当第1四半期連結累計期間の売上高は、3,595百万円(前年同期比19.4%増)、セグメント利益は608百万円(前年同期比13.9%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高497百万円(前年同期比14.4%増)を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、受託製造が堅調に推移し、売上高は1,748百万円(前年同期比16.6%増)、セグメント利益は262百万円(前年同期比71.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

総資産は24,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少922百万円があった一方で、電子記録債権の増加272百万円、商品及び製品の増加224百万円、原材料及び貯蔵品の増加129百万円、仕掛品の増加39百万円、受取手形及び売掛金の増加35百万円等があったことによるものであります。

負債は7,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ406百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少454百万円、長期借入金の減少72百万円があった一方、賞与引当金の増加67百万円、支払手形及び買掛金の増加38百万円等があったことによるものであります。

純資産は16,930百万円となり、前連結会計年度末と比べ226百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益605百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少396百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.4ポイント増加し、68.8%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の連結業績予想につきましては、2021年8月11日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,261,630	7,338,674
受取手形及び売掛金	3,801,303	3,836,897
電子記録債権	3,344,714	3,617,485
商品及び製品	1,559,052	1,783,685
仕掛品	273,610	312,919
原材料及び貯蔵品	303,022	432,951
その他	109,230	120,714
流動資産合計	17,652,563	17,443,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,781,898	4,842,212
減価償却累計額	△1,968,093	△2,015,214
建物及び構築物 (純額)	2,813,805	2,826,998
機械装置及び運搬具	3,527,857	3,681,178
減価償却累計額	△1,547,376	△1,623,412
機械装置及び運搬具 (純額)	1,980,481	2,057,765
工具、器具及び備品	1,191,049	1,211,164
減価償却累計額	△983,418	△1,001,145
工具、器具及び備品 (純額)	207,630	210,019
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	69,670	5,807
有形固定資産合計	6,833,361	6,862,364
無形固定資産		
その他	74,598	80,765
無形固定資産合計	74,598	80,765
投資その他の資産		
投資有価証券	76,978	82,456
繰延税金資産	126,905	115,465
退職給付に係る資産	28,212	28,583
その他	12,007	11,762
投資その他の資産合計	244,103	238,268
固定資産合計	7,152,063	7,181,398
資産合計	24,804,627	24,624,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,587,745	1,625,804
電子記録債務	642,452	650,532
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	383,248	374,915
未払法人税等	708,399	253,839
賞与引当金	52,180	119,470
その他	857,818	876,129
流動負債合計	5,081,844	4,750,691
固定負債		
長期借入金	2,641,096	2,569,096
繰延税金負債	6,395	6,504
役員退職慰労引当金	110,882	113,749
退職給付に係る負債	126,322	127,880
その他	134,361	126,698
固定負債合計	3,019,058	2,943,928
負債合計	8,100,903	7,694,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,277	522,277
資本剰余金	205,828	205,828
利益剰余金	15,957,540	16,167,267
自己株式	△376	△376
株主資本合計	16,685,270	16,894,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,453	21,211
繰延ヘッジ損益	—	13,897
その他の包括利益累計額合計	18,453	35,109
純資産合計	16,703,724	16,930,106
負債純資産合計	24,804,627	24,624,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
売上高	4,074,762	4,845,773
売上原価	2,809,000	3,478,852
売上総利益	1,265,762	1,366,921
販売費及び一般管理費	580,091	496,386
営業利益	685,670	870,534
営業外収益		
受取利息及び配当金	874	1,391
為替差益	10,968	18,867
受取手数料	953	3,147
補助金収入	3,361	2,259
受取補償金	308	226
その他	1,516	219
営業外収益合計	17,983	26,112
営業外費用		
支払利息	6,329	4,483
和解金	—	16,000
その他	51	201
営業外費用合計	6,380	20,684
経常利益	697,273	875,963
税金等調整前四半期純利益	697,273	875,963
法人税、住民税及び事業税	167,111	267,060
法人税等調整額	16,952	2,988
法人税等合計	184,064	270,049
四半期純利益	513,208	605,913
親会社株主に帰属する四半期純利益	513,208	605,913

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	513,208	605,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,630	2,757
繰延ヘッジ損益	△1,420	13,897
その他の包括利益合計	△4,050	16,655
四半期包括利益	509,158	622,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509,158	622,569

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転されるまでの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。また、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,574,744	1,500,018	4,074,762	—	4,074,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	434,989	—	434,989	△434,989	—
計	3,009,734	1,500,018	4,509,752	△434,989	4,074,762
セグメント利益	534,608	153,406	688,014	△2,344	685,670

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,344千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,097,308	1,748,465	4,845,773	—	4,845,773
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,097,308	1,748,465	4,845,773	—	4,845,773
セグメント間の内部売上高 又は振替高	497,754	—	497,754	△497,754	—
計	3,595,062	1,748,465	5,343,528	△497,754	4,845,773
セグメント利益	608,932	262,406	871,338	△803	870,534

(注) 1. セグメント利益の調整額△803千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による事業セグメントの売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。